

随筆
第九回

天皇陛下の退位と 旭市への行幸啓

市長 明智 忠直



昨年12月、天皇陛下の退位について詳細が発表されました。国民にとって時代の流れを感じる大きな出来事であり、天皇陛下が退位の希望を明かされてから1年余り。今まであまり例のない生前退位ということで、国民に大きな衝撃が走りました。私たち旭市は、平成23年3月の東日本大震災の被災地として、全国で一番早い4月14日に、お見舞いの行幸啓をお受けしたところであり、天皇、皇后両陛下がこの旭市に来ていただけるということで、期待と不安が入り交じった気持ちでした。しかしこのことはきっと被災者の悲しみ、苦しみ、絶望感を少しでも和らげられるのではとの思いで迎えしたところでもあります。

宮内庁、千葉県警などからは前々日までは行幸啓があることは公表しないようにと話があり、前日での周知となりましたが、当日はこの沿道も両陛下を一目見ようと多くの人が集まっていました。避難所では人々と同じ目線で話され、激励をしてくださるその姿は、私や森田知事も頭の下がる思いでありました。そしてその言葉の数々も、優しさや思いやりがあり、とても温かいものでした。励ましの一言一言が、どれだけ被災者の心に響き元氣付けられたか。「恐かったでしょう」「元氣を出してくださいね」などのお言葉に、被災された皆さんが涙を流して頭を下げ、手を握っていた光景が今でも忘れられません。バスでの移動でも天皇、皇后両陛下は最前席で沿道の皆さんに手を振ってくださいました。退位を希望された天皇陛下にあっては、長い間の象徴としての国事行為やお見舞い、ご慰問など激務であつたと思います。そろそろ皇太子殿下に継承されてもという気持ちでありました。天皇陛下の退位、皇太子殿下の即位を、万感の思いで見守っていききたいと思います。



市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／2日(火)、3日(水)、9日(火)、18日(木)、毎週月曜日

岡市図書館 ☎62-2560 <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

「おらおらでひとりいぐも」

若竹千佐子 著
(河出書房新社)



夫に先立たれ、子どもとも疎遠。74歳ひとり暮らしの桃子さんが、深い悲しみの果てにたどり着いた境地とは。第54回文藝賞受賞作。

「銀杏手ならい」

西條奈加 著
(祥伝社)



隠居した父に代わり手習指南所で奮闘するも、周囲に認めてもらえない。子どもたちと真剣に向き合い、共に成長していきます。

新着図書

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ●頭の決まりの壊し方 (小池龍之介) | ●逆さに吊るされた男 (田口ランディ) |
| ●日本史の内幕 (磯田道史) | ●キッチンコロシアム (田中経一) |
| ●宇宙用語図鑑 (二間瀬敏史) | ●オブリヴィオン (遠田潤子) |
| ●届かなかった手紙 (大平一枝) | ●デッド・オア・アライブ (楡周平) |
| ●オープン料理とおおき (野口真紀) | ●西郷どん! 前・後編 (林真理子) |
| ●侵略する豚 (青沼陽一郎) | ●ランチ酒 (原田ひ香) |
| ●友情 (山中伸弥) | ●たゆたえども沈まず (原田マハ) |
| ●いのちの旅人 (新海均) | ●満天のゴール (藤岡陽子) |
| ●白い久遠 (浅野里沙子) | ●ノーマンズランド (菅田哲也) |
| ●人間タワー (朝比奈あすか) | ●光の犬 (松家仁之) |
| ●戦の国 (沖方丁) | ●花のお江戸で粗茶一服 (松村栄子) |
| ●ミ・ト・ン (小川糸) | ●武者始め (宮本昌孝) |
| ●肉弾 (河崎秋子) | ●焼け跡のハイヒール (盛田隆二) |
| ●さよなら、田中さん (鈴木るりか) | ●かるい生活 (群ようこ) |

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／1月11日(木) 25日(木)

午後4時30分～5時

場所／市民会館